

## 国際シンポジウム「大学における研究データサービスの導入と展開」

Carlson, Jacob

ニューヨーク州立大学バッファロー校図書館：研究・コレクション・アウトリーチ担当アソシエート・ユニバーシティ・ライブラリアン

Rice, Robin

エディンバラ大学図書館・大学コレクション部門：データライブラリアン兼研究データ支援サービス部長

Smith, Simon

エディンバラ大学図書館・大学コレクション部門：研究データ支援オフィサー

竹内, 比呂也

千葉大学：副学長

他

<https://doi.org/10.15017/7238303>

---

出版情報：2024-10-11. University of Edinburgh

バージョン：

権利関係：

国際シンポジウム「大学における研究データサービスの導入と展開」

# 九州大学における研究データサービスの課題

2024.10.11

システム情報科学研究所 情報学部門 教授  
データ駆動イノベーション推進本部 研究データ管理支援部門 部門長

富浦 洋一

## 研究データ管理・公開ポリシー, 同解説, 部局実施要領

- 九州大学研究データ管理・公開ポリシー, 同解説の策定
- 部局等における研究データ管理・公開の実施要領策定のためのガイドライン, サンプルの作成
  - 策定WG設置 (2022.8)
  - WGメンバーは, 研究データ管理支援部門から2名, 図書館職員1名, その他, セキュリティー, 情報法, 知財の専門家3名, 文系1名, 理系1名
  - 教育研究評議会決定, 公開 (2023.3)
- 部局における研究データ管理・公開実施要領の完了
  - 研究院レベルの実施要領策定完了 (2024.2)
  - 学内限定で公開

## 研究データ管理に関するリテラシー教材

### ■ 教材「はじめよう、研究データ管理」

- 学部生、大学院生、若手研究者等を対象にした、研究データ管理の方針決定、研究データ整理法、データ保存・公開等に関する基礎知識を得るための教材。研究遂行中のデータの整理方法等にも言及
- 2023年8月、QIRから公開: <https://doi.org/10.15017/6796147>
- 2024年7月、英語版を公開
- PDFとパワーポイントで提供
- 5章構成で、全章を学ぶ所要時間は1時間弱

はじめよう、  
研究データ管理



日本語版ダウンロード数:27,000回超 (2024.7.15現在)

### ■ 動画教材「はじめての研究データ管理:研究室の日常から」

- 学部生・大学院生用の教材で「はじめよう、研究データ管理」よりも初歩的な内容で、適切な研究データ管理をしないことで生じる問題等を紹介したもの
- QIRからCC0で公開

日本語版: <https://doi.org/10.15017/4476054>

英語版: <https://doi.org/10.15017/7162490>

## 研究データ管理用ストレージシステム(QRDM)

2023.12 運用開始

### ■ 構成

- Hot storage main (伊都地区, 実効容量 約3PB)  
Nextcloud で利用者に領域を提供
- Hot storage sub (筑紫地区, 実効容量3PB)  
main のミラーリング
- Cold storage(容量 約6PB)に増分 Backup

IBM FlashSystem 5035  
× 2台



テープライブラリ  
IBM TS4500



### ■ 特徴

- Nextcloudのアカウントを全教員に付与
- 教員一人当たり5TBまで
- 学生は教員に割り当てられた領域を利用(教員が共有設定)
- 機密性2までのデータを保存・共有可能
- **直接アクセスは学内限定**
- **拡張ストレージとしてGakuNinRDMに接続可能で, 学外からもアクセス可能**

サーバ計算機  
×11台



IBM Spectrum Scale  
IBM Spectrum Protect  
Nextcloud

長期保存のための拡張・階層化を予定

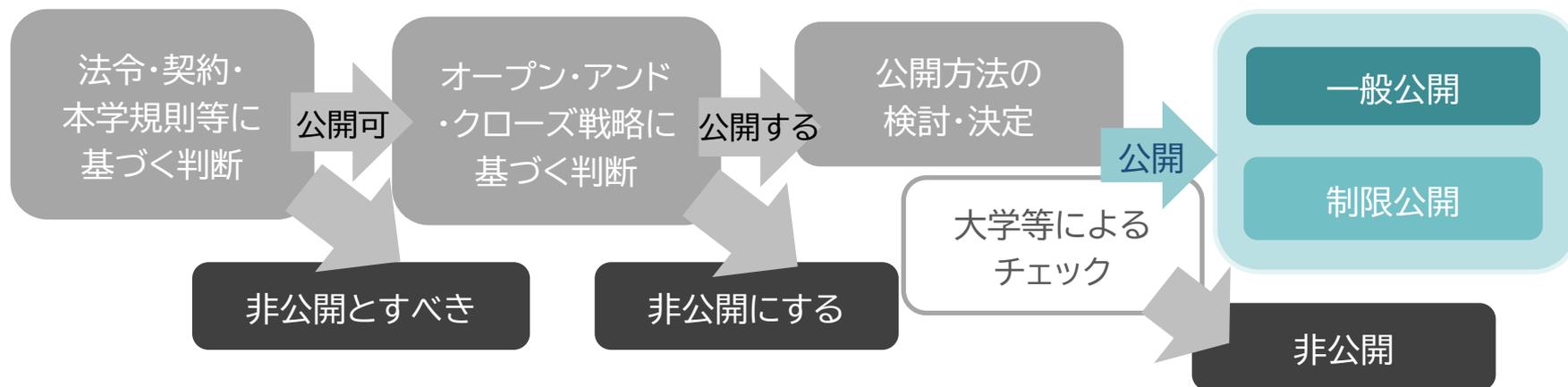
<https://rds.dx.kyushu-u.ac.jp/qrdm>

## 研究データの公開支援

## ■ 公開可否判断の支援

相談受付, 関連部署への問い合わせ

研究者



## ■ 公開場所の提供：九州大学学術情報リポジトリ(QIR)

- 論文の根拠データの公開
- メタデータのみ公開

約60TB増強

DOI(Crossref/JaLC/DataCite)の付与

## 研究データ管理支援人材の育成

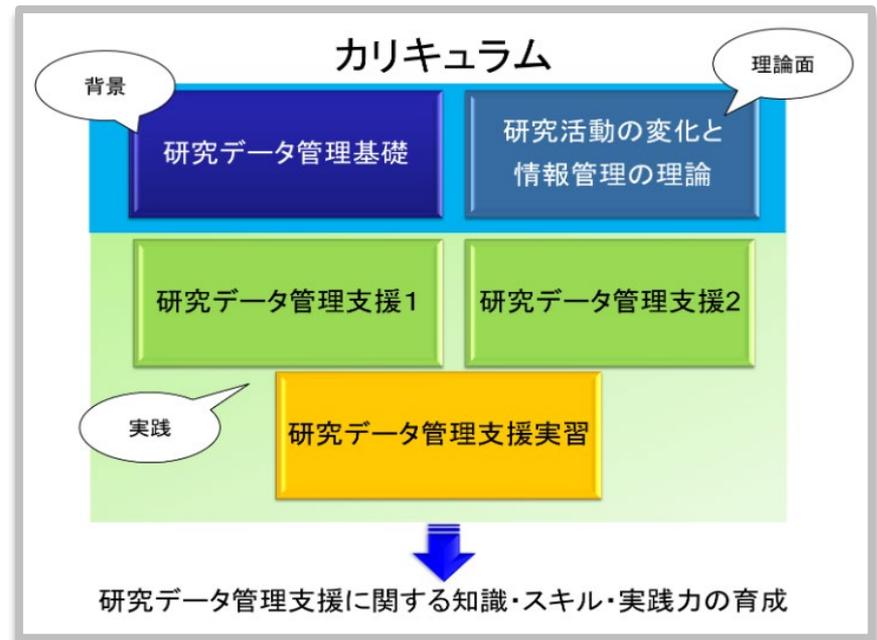
### ■ 研究データ管理支援人材育成プログラム

- 統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻が提供する履修証明プログラム
- 想定する履修者：社会人(図書館職員、URA、研究推進に関わる人材等)
- プログラム特徴
  - 5科目5単位、1年間で履修可能  
(秋学期から翌年度春学期)
  - 対面授業(集中講義)とオンラインの授業(集中)の組み合わせ
  - 履修者同士のディスカッションも多く取り入れた内容
  - 海外の大学から講師を招聘し、先進事例を豊富に紹介
- 定員:10名程度

#### ※ 実績

第1期生(2023.10~2024.9):13名

第2期生(2024.10~2025.9):23名



## 相談窓口

- 部門 web page に「お問い合わせフォーム」掲載
- これまでの相談内容：
  - DMP
  - 部局における研究データ管理・公開実施要領
  - データ保存場所
  - 作成した program の公開時の copyright
  - QRDM
  - 転出した教員のデータの扱い

- 研究データ管理・公開に関わるポリシー, 実施要領の周知
  - 部局実施要領策定に関与した一部の教員・職員を除き, 部局の構成員がポリシーや実施要領をどこまで把握しているか？  
どのようにして周知させると良いか？
  - グッドプラクティスの掘り起しと広報  
(研究データ管理・公開のメリットの周知)
- 研究データの長期保存
  - 長期保存のためのインフラは, 個人で準備か, 大学提供か.
  - 特に, 退職した教員の保有していた研究データの保存？  
公開に繋がられないか？
- インフラ導入, 長期的な安定的運用のための予算確保
- 支援人材の教育と雇用
- 学生への教育

ご清聴ありがとうございました